

市政課題への取り組み

財政白書を作成し施策を検討
優先順位を見極め着実に進める

問 本市の財政見直しを踏まえ、山積した課題を今後どう進めていくのか。

答 本市の財政状況は継続的な人口増加に伴い、市税収入など歳入は継続的に増加している。また、市債残高は減少し、基金残高は増加しており、財政指標も健全な水準を維持しているため、今後も直ちに持続可能性が問題になることはない認識している。



財政指標は健全な水準を維持

新たな財源確保へ 地域産業の活性化 市の取り組みは

問 新たな財源の確保として地域産業の活性化が必要ではないか。

答 本市は、あかしSDGs 前期戦略計画において地域産業振興を掲げ、産官学等の連携により、本市の産業を支える中小企業の基盤強化と事業継承を支援し、技術革新による産業構造の転換に対応した起業・創業しやすい環境整備等の支援に取り組むとしている。

ている。しかし、こどもを核としたまちづくりなど積極的な施策展開により、扶助費等が増加し、今年度は電力高騰等の影響から約21億円の基金を取り崩す予定だ。今後も財政運営を楽観することなく、慎重に臨む必要があるため財政を見える化し、市民や議会と共有できる財政白書を作成したい。各施策の検討・実施は、優先順位を見極

め、市の財源だけでなく、産官学民と連携しながら必要な施策を着実に進めていきたい。

インクルーシブなまちへ 産官学民の共創で 新たな取り組みを

ながら必要な施策を着実に進めていきたい。

様々な人々がお互いを知り、対話をし、理解し合い、楽しみながら交流することが大変有意義であると考えており、障害の有無にかかわらず誰もが参加し交流できるイベントを実施してきた。しかし、講演型のイベント等は市民の方が気軽に参加するまでには至らず、実施内容や周知方法に改善の余地があると考えている。

問 インクルーシブなまちづくりの現状と課題、今後の方向性について市の考えを聞く。

答 本市は、令和4年4月に、すべての人が自分らしく生きられるあかしインクルーシブ条例を施行し、市民にインクルーシブの理念を広く理解してもらうためのパンフレット等を作成し、啓発活動を実施している。また、多

大久保北部の市有地 利活用に向けて調査を実施

また、若い世代に対し、経済的な自立・安定につながる就労支援を行い、働きやすい雇用環境づくりを推進し、地域産業の活力につなげるにも取り組む。将来的な人口減少を見据えると既存の地域産業を守るだけでなく、起業や新規事業など、新たな挑戦を後押しする取り組みの必要性も認識している。

問 大久保北部市有地の利活用について、市の考えを聞く。

答 約19ヘクタールある大久保北部市有地について、長年、有効な方策を模索してきたが、市街化調整区域内にある、民有地が混在している、道路との接続が悪いことに加え、自然環境との調和や生態系への配慮が必要であるなど課題が多く、土地利用が進んでいない。

問 気象防災アドバイザーの委嘱について、市の考えを聞く。

答 気象防災アドバイザーは、気象庁が平成29年度に創設した比較的新しい制度で、気象、

インターネットで消防に通報できる NET119緊急通報システム 今後も市民への周知を図る

問 本市が導入しているNET119の周知啓発について、市の考えを聞く。

答 NET119緊急通報システムは、聴覚や言語機能などに障害があり、音声による緊急通報が困難な人に携帯電話のインターネット機能を通じた簡単な画面

問 気象防災アドバイザーの委嘱について、市の考えを聞く。

答 気象防災アドバイザーは、気象庁が平成29年度に創設した比較的新しい制度で、気象、



多様な生態系を維持している里山

課題を整理している。今後は、本市のまちづくりの理念であるSDGsの考えを基本に、ネイチャーポジティブ(自然再興)などの考え方も取り入れた生態系の保全を前提に、市内唯一の里山を生かした将来にわたる利活用調査・検討を進めていきたい。

議員ふもやま話

▽採択された請願△
○打ち上げ花火の安全な実施のために、市民が協力して取り組む安全に関する請願

議員ふもやま話

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。
2024年は皆さまにとって飛躍の年になりますように祈念いたします。
昨年は、阪神タイガースが日本一、オリックス・バファローズがパ・リーグ優勝、ヴェルセル神戸がJリーグ優勝と、関西を盛り上げ、熱気に包まれた年でした。
わが家では、子どもが小さなときは、大みそかには年越しそばを食べ初詣に出かけたものです。子どもたちが独立して自分の時間が持てるようになり、美しい景色を見て感銘を受けたり、心を揺さぶる書籍、映画に出会うことを楽しみにしながら、年は1つ取りますが、気持ちだけは明るく若くいきたいものです。少しドキドキすることにもワクワクし、失敗を恐れず挑戦もし、後の人生納得しながら、健康にも配慮して過ごせたらと感じる今日この頃です。一日一日、皆さまにとっても自分を褒められる何かがあればいいですね。「人にもモノにも優しい市になれますように。」

調査・検討した結果、災害時の気象分析、防災に係るアドバイス、気象台との連絡調整など多岐にわたって業務に携わってもらうため、今年4月1日付で任期付職員として採用する予定である。
今後は、専門性を活用し、市民の安全と健康、財産を守る取り組みを進めたい。

市議会議員は公職選挙法で
年賀状や寄付、祝いなどは
禁止されています。
皆様のご理解を
お願い申し上げます。

